

なかざわけんじコンサート

町文化ホールにてデビュー45周年記念コンサート

大津町在住で元H2Oのなかざわけんじさんのデビュー45周年コンサートが6月15日に開催されました。文化ホール事業運営委員会の主催です。なかざわさんは、華やかな照明演出、フルバンドの演奏中、「想い出がいっぱい」などの名曲を披露されました。ゲストには元Whiteberryのボーカル前田有嬉さんも登場し、紅白歌合戦で歌った「夏祭り」などを披露し会場を盛り上げました。参加者からは「楽しい時間でした」「すばらしい歌声でとてもよかったです」などの感想がありました。



デビュー45周年記念コンサートの様子

旭日単光章を受賞

町議会議員として地方自治の振興に貢献

6月25日、手嶋靖隆てしまやすたかさんが高齢者叙勲として「旭日単光章」を受賞しました。町議会議員を平成13年から20年間勤められ、その長年の功績が認められたものです。伝達式では勲記と勲章が授与され、金田町長が町への貢献に対しお礼の言葉を述べました。手嶋さんは、「身に余る章を頂き光栄です。支えてくださった皆さんと長年寄り添ってくれた妻に深く感謝します」と喜びと感謝の言葉を述べました。



賞状を手に持つ手嶋靖隆さん(右から2番目)と妻のスマ子さん(右から3番目)

半導体関連事業の複合拠点

エア・ウォーター(株)新社屋竣工式

エア・ウォーター株式会社(本社：大阪府)のデジタル・半導体関連事業のグループ拠点施設が杉水に完成し、5月27日に竣工式が行われました。同地には事務所棟と倉庫が新設され、新たな産業基盤が築かれました。松林良祐まつばらりょうすけ社長は「半導体が集積する地であり、お客様の声を直接聞けるデジタルの最前線で、熊本県の発展・半導体関連分野の発展に貢献していきたい」と述べました。



デジタル最前線の複合拠点

企業と共に住みやすい町へ

企業版ふるさと納税贈呈式

企業版ふるさと納税の贈呈式が6月25日に役場で行われ、株式会社ヒライ・コンサルタント(本社：熊本市)の森和則もりかずのり代表取締役社長から目録が贈呈されました。町の地方創生への取り組みに対する支援に対し、金田町長から感謝状を贈呈しました。森社長は「子ども達の未来のための一助になれば幸いです」と述べました。寄附金は大津町・まち・ひと・しごと創生総合戦略における次世代子育て支援プロジェクトの事業に活用します。



(株)ヒライ・コンサルタント 森和則代表取締役社長(前列中央)

台湾との国際交流

大津南小学校と姉妹校締結、町から感謝状贈呈

台湾高雄市の勝利國民小學しょうりこくみんがくから児童21人、校長ほか9人が大津南小学校を訪れ、姉妹校締結交流を6月27日に行いました。大津南小3、4年生からソーラン節、勝利國民小學からはダンスを披露し、お互いの文化に触れました。その後は、互いの国や学校についての発表や、給食、掃除に参加し日本の学校生活を楽しみました。また、昨年度に絵本を寄贈いただいたご縁があり、来町に伴い町から勝利國民小學李校長と保護者代表曾そさんに感謝状を贈呈しました。



笑顔あふれる記念写真 国を越えた友情が育まれました

おいしいお米ができますように

田んぼの学校 in 白川中流域2025

白川中流域土地改良区協議会による「田んぼの学校」が6月28日に菊陽町で行われました。このイベントは、熊本県や熊本市、菊池地域農業協同組合、大津町、菊陽町、熊本県土地改良事業団体連合会などが共催しており、田植えを通して農業と地下水の大切さを知ってもらおうと開催しています。23回目となる今年は、熊本市の水の科学館の見学もあり、熊本の水が美味しい秘密を知ることができました。



熱中症に気を付けながらみんなで楽しく田植えをしていました

台湾の半導体関連企業が進出

帆宣テック(株)新社屋竣工式

台湾に本社を置く帆宣テック株式会社ハンセンの新社屋が室に完成し、6月26日、竣工式が行われました。同社は1988年に台湾で創業し、2022年には日本法人を設立。今回、町に新しい拠点を整備したことで、県内をはじめとした半導体関連施設への対応力をさらに強化します。新社屋には、事務所機能のほか、半導体関連施設の稼働を24時間体制で迅速にサポートできるよう、工場および宿舍棟も整備されています。



24時間体制に対応した機能的な拠点

半導体の点検・保守拠点が完成

ギガフォトン(株)新社屋竣工式

ギガフォトン株式会社(本社：栃木県)の九州事務所の新社屋が室に完成し、6月27日に竣工式が行われました。同社は2000年に創業を開始し、新社屋は、半導体関連設備のメンテナンスを担うサービス拠点となります。榎波龍雄えなみたつお代表取締役社長兼CEOは「半導体産業への貢献のため、サービスのキャパシティを拡大しています。お客さまとのオープンで価値のあるコミュニケーションを重視し、半導体産業の需要に対する供給責任を着実に果たしていきます」と述べました。



九州の新たなメンテナンス拠点に